

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2020.11.No279

11月号

目次

(一社)北海道建築士会の 会費が新たに……	1
Webワーキング報告……	2
ブロック会報告……	3
技術ノート (CPD自習型認定研修) ……	4
青年の窓……	6
Coffee Break……	7
information……	8

URL <https://www.h-ab.com/>

(一社)北海道建築士会の会費が新たに…… “コンビニエンスストア”でのお支払いが可能に! ～令和3年からの会費の納入がより便利に変わります～

(一社)北海道建築士会会費がコンビニエンスストアでもお支払いいただけるようになります。24時間365日支払いが可能となり振込み手数料の負担もなくなり、より便利になります。

今までどおりの所属支部窓口にて現金でのお支払いも可能ですし、もちろん、従前の北洋銀行・ゆうちょ銀行でのお支払いも変わらずご利用いただけます。

■支払方法

【コンビニでのお支払い】

請求書に同封のコンビニ払込用紙により店頭レジカウンターにてお支払いください。

【支部窓口にてお支払い】

いままでどおり支部窓口でのお支払いもできますので、所属支部へお問い合わせください。

【銀行口座でのお支払い】

請求書記載のゆうちょ銀行・北洋銀行口座へお支払いください。(振込み手数料は、ご負担いただきます)

■会費の改定について

令和3年より会費が改定されます。

区分	会費 (年額)
正会員	12,000円 ⇒ 15,000円
準会員	9,600円 ⇒ 12,000円

会費の改定に伴い、新たに、まちづくりや住宅相談など地域社会のための事業や新しい知識や技術に関わる講習会など、①建築士会のPR、②会員等の資質の向上、③地域住民との協働の3つの視点のいずれかが含まれた、ブロック会及び支部での事業に対して、人材、資金、情報などの活動等への支援を行うため「特別活動費」として、助成します。

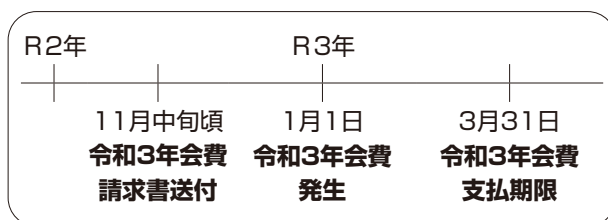
■令和3年会費スケジュール

11月中旬頃に令和3年会費請求書と新しい会員証を送付いたします

本会の会費は、会費規則第2条1項により、年会費(1月～12月)の一括納付とし令和3年3月31日迄となっております。

※会費の滞納が続きますと会誌の発行、会員としての特典が停止されます。

令和3年会費関係スケジュール



■退会の取り扱いについて

年の途中で退会された場合でも1年分の会費が発生いたします。都合によりやむを得ず退会される場合、令和2年12月31日迄に退会届を所属支部へご提出をお願いいたします。

【お問合せ先】

(一社)北海道建築士会 TEL011-251-6076

Web会議 (Zoom) 開催する！

(Web WG) ■総括理事：針ヶ谷 拓己 (札幌)

■常務理事：牛田 健一 (札幌)・西岡 誠 (札幌)・伊藤 隆英 (恵庭)

第2回Webworkingにおいて、オンライン会議ツールの「Zoom」の運用及び導入サポート業務を(株)電通システムに委託して、いよいよ！本格的なWeb会議 (Zoom) を開催しました。

各実行委員会が“Web会議”で開催される！



▲主催者側サイド (本部事務局会議室)



▲Zoomミーティング「参加者」画像

■7月18日(土) 午後2時から、本部事務局会議室を主催者側サイドとして、第2回「Web情報委員会」が開催されました。今回のZoomミーティングの参加者は、①村山賢司さん(中標津)②前田繁さん(釧路)③片岡哲二さん(札幌)の3委員で、前日に事務局から送付された参加メールのURLにアクセスしてWeb会議に参加しました。(音声や画像は全く！支障はなくスムーズな議事進行が図られました。)

■今回は、最初に担当常務理事から、Web Working Groupからの報告として①Web会議ツール導入サポートについて②ホームページのリニューアルについての概要説明があり、次に、新型コロナウイルス感染症の影響で今回、中止となった全国・全道大会の開催関連を掲載する予定であった記事の“穴埋め”として、令和2年10月号以降の掲載記事の“ネタづくり”を協議して、10月号には「WebWGからの報告」、11月号には「Web会議 (Zoom) 開催」、12月号には「HPリニューアル」を掲載することになりました。

■また、今回のWeb会議において、新たな誌面づくりとして“西から東から”というタイトルで全道179市町村を対象とした、そのまちづくり活動や歴史的建造物などを紹介する新たなページを創ることになりました。その令和3年1月号の第一弾！として、「恵庭～」を当委員会の委員が取材をして記事を掲載することになりました。(乞う！ご期待を・・・)

*三密(密閉・密集・密接)回避する・・・

令和2年 臨時理事会が“Web会議”で開催される！

通常の理事会は、本部事務局会議室で21名の役員が参加して、まさに「三密！」状態で開催されていましたが、9月11日(金)の第4回「理事会」の前に、臨時理事会を7月22日(水) Web理事会として開催しました。Webでの理事会の開催は、初めてのことから、7月13日(月) 午後2時30分から事前に接続方法等をテストするために練習用のミーティングルームを開き、各理事から練習用URLにアクセスしてもらい、接続状況等を確認しました。

■7月22日(水) 午後3時から「臨時理事会」がWeb会議で開催しました。本部事務局会議室を主催者側サイドとして、高野会長、鈴木・佐藤両副会長、鈴木事務局長の4名が待機し、17名の各理事は、職場又は自宅から前日に事務局から送付されたWeb会議参加URLにアクセスして、全員が本部事務局会議室に「入室」することができました。(画像、音声とも良好！)

■今回の議案書は、事前に書面送付されており、はじめに高野会長の初のWeb会議での「開会の挨拶」があり、会議次第により議事の審議に入りました。議題は、議案第1号

「本会ホームページの改良について」、議案第2号「会費集金代行サービスの導入について」、議案第3号「令和2年一般会計収支予算の補正及び流用について」、議案第4号「令和3年開催第44回全道大会(網走大会)開催日について」の4議案は、すべて満場一致で「承認」されました。

■次に、報告事項として①オンライン会議ツールの導入及び運用状況について、②ホームページリニューアルの進捗状況について、の経過及び基本方針など詳細な報告がWeb working groupからありました。(※会誌「北海道建築士 (10月号)」に“Web working groupからの報告！”として特集掲載しました。)

■ブロック会や支部でもWeb会議システムを使用して会議を開催したいとの要望もあり、9月中に事務局長を対象にWeb会議を実施して、各支部での活用についての意向等の聞き取り調査を行いました。



▲主催者側サイド(本部事務局会議室)「参加者」画像

こんなときこそポジティブ思考！

道央ブロック会

統括理事 針ヶ谷 拓己 (札幌支部)



8月21日(金)、支部長会議が行われた後の30分間ではありましたが、第1回道央ブロック会が開催されました。冒頭、「近況報告」をテーマに、各支部からお話しをいただき、新型コロナの影響でイベントはもちろん理事会すら開催できていないことや、来年の会費値上げによる支部会員減少の懸念など、超ネガティブ報告で会議がスタートしました。こんなときは前向きな会議をということで、みなさんへポジティブ意見を求めてみたところ、①Zoomを支部でも利用して理事会や委員会を是非開催してみたい！ ②道央ブロック会の各支部長がもっと情報連携できるようメーリングリストを構築しよう！ ③CPDが経審の加点対象になることをもっとアピールして会員増強を！ ④今年は各支部で事業が中止となっているので、こんなときこそ建築士会の勧誘ポスターを作成しては？ など、短い時間の中ではありましたが、良い意見が挙がりました。新型コロナで建築士会の活動が低迷している中、ポジティブ思考が大切であることを改めて感じたひと時でした。

次回道央ブロック会議の開催予定日は11月12日(札幌にて)。またこのメンバーで建設的なお話しができることを楽しみにしているところです。

今を考える道北ブロック

道北ブロック会

留萌支部長 舩田 彰 (留萌支部)



全道各支部の皆様元気ですか。

今年は冬からのコロナ騒動の影響で士会活動も予約を受けてきましたが、8月21日 支部総会そしてブロック会が開催出来た事を本当に嬉しく思います。支部長会議では本年の各支部活動が報告されました。どの支部も今年は思い通りの活動が出来ていない事を改めて実感されました。

その後ブロック会議が開催され、道北各支部の活動状況また、各支部の抱えている問題が議論となりましたので、各支部からの意見をまとめました。

- ・来年度からの会費UPとなった場合、会員数が減るのではないかと？ ※ある支部からは会員数減少は当然と思う、減少した会員の中で活動を再構築する必要がある。
- ・減少する支部会員だけでの活動は非常に困難な為各支部合同の活動、催し等を考えてみてはどうか
- ・士会だけでの活動、催しは難しくなっている。他団体(例えば技能士会)などとのコラボした活動を考えていきたいと思っている
- ・単体支部として存続運営は近未来において無理があるかもしれない。将来的には支部の合併も考えていく必要があるかもしれない等の意見がありました。これらの問題は各支部共通の問題かもしれないと思いながらブロック会を終了しました。

新しい建築士会支部活動に向けて

道南ブロック会

統括理事 山内 一男 (函館支部)



コロナ禍で各支部は自粛活動の中、新たな支部活動の課題と検討している事項の報告がなされた。

支部活動の継続の一つに事務局の有り方を考えている点であった。既に室蘭支部は、事務局を建築士事務所協会と一緒に効率化を図り、苫小牧支部は事務局の一本化に具体的に動く報告がされた。日高支部も事務所協会と事務局一本化の検討の考えが話された。事務局員の勤務体制や家賃、経費等の情報提供が真剣に話された。事務局の一本化は、会員の減少の中、若い会員の入会無くして支部士会活動は継続できない危機感と共に、乗り越える課題であろう。

会費の値上げは、経費削減努力を引き続き行うにしても、やむを得ないとする判断であった。新しく創設される、支部へ支給される特別活動費の使い方について、意見が出され話合われた。事務局一本化の経費補助の利用は、今までの会員活動に影響が及ばないこと、会員を増やす為に新会員の会費補填や補助に、新しい事業の為だけではなく継続している事業を一層力強く推し進める事に利用できないかなど、各支部の課題と向き合う意見が時間の限り論じられた。

新しい時代の支部活動のために、持ち帰って支部会員の意見を反映し、報告をもらう事で閉会した。

第1回ブロック会議報告

道東ブロック会

統括理事 庵 敏幸 (北見支部)



道東ブロック会は、各年2回の会議を実施し秋季開催は各支部のそれぞれの現状実態習得等を含めて各支部持ち回りとし、令和4年で一巡する予定です。特に毎回の議題で会員の高齢化と若者の入会不足が議論されますが、地域人口減に伴う若者の減少、特に道東地区における建築専門の学習機関が非常に少なく、建築基礎を学びに道央へ行ってる方もいました。各支部も職場での人間関係による情報を密にし、新人発掘の努力してる実例も有りました。今回は建築士法が改正され連合会本部が登録前の建築試験合格者をプレ会員とし、建築施工管理技士資格者を技士会員としてそれぞれを準会員とする規則に改正されました。これにより各支部の建築施工管理技士が建築士会に入会できることになりました。土木施工管理技士には加盟団体(一社)全国土木施工管理技士会連合会が有り、北海道士会に業務上でほとんど加入しており、会員情報誌[JCM.REPORT]が毎月発刊されております。会誌編集は省庁が主体となっており土木・農業技術の現場最前線の情報を発信しておりますが建築関連の記事はありません。建築施工管理技士に対する団体はなく、横のつながりが無い状態です。各支部の対象者に当会情報誌等を利用し会員増強の一業として下さい。私もあと何年勤まるかという年代です。コロナに負けずにガンバレ道東です。

CLT建築物の床衝撃音遮断性能を向上する 浮き床工法の開発

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部
北方建築総合研究所 建築研究部 部長 廣田 誠 一

建築研究部建築システムG 飯泉元 気

1. CLT建築物の床衝撃音遮断性能の現状

欧州で普及し始めたCLT（Cross Laminated Timber）造建築物は、国内においても普及が進み、2019年現在、その整備数は400件以上¹⁾に上っています。CLTは、木材のひき板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着したものです。使用されている樹種は、本州ではスギ材、北海道では、カラマツ材とトドマツ材が主流です。

木材は、鉄筋コンクリートスラブに比べて比重が約1/4、ヤング率は1桁小さくなるため、床衝撃音遮断性能が劣ります。

床衝撃音レベルは、面密度と曲げ剛性から算出される駆動点インピーダンスの対数値で表すことができるため、CLT床を7層7プライ厚さ210mmと、ひと昔前のRC造分譲マンションの床スラブ厚さ200mmを計算し比較するとその差は約15dBになります。RCスラブ200mmの重量床衝撃音遮断性能の等級は $L_{i,Fmax,r,H(1)} - 50$ 程度ですので、CLT 210mmでは $L_{i,Fmax,r,H(1)} - 65$ 程度になります。この性能は、木造共同住宅では高いほうに分類されますが、十分な性能とは言えません。因みにRC造スラブ200mmと同等の性能をCLT床で実現する場合はその厚さが、530mmにもなります（図1）。単に床を厚くするだけでは性能向上の限界があることがわかります。

2. CLT浮き床工法の開発

床仕上げ構造の評価は「JIS A 1440-2実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法-第2部：標準重量衝撃源による方法」に従って、RC造の試験室のスラブ上に床仕上げ構造を施工し、施工する前後の床衝撃音レベルの差を求め、「床衝撃音レベル低減量」として表示します。

木造床の場合はJIS規格が制定されていないため、RC造の試験室の床部分に木造床を設置して上記のJISに従って測定、評価します。表記は区別するため「床衝撃音レベル改善量」とします。



写真1 CLT造A建築物の室内

2.1 浮き床層の仕様

浮き床に用いる緩衝層は、かつてRC造共同住宅の湿式浮き床工法に採用されていた密度 96kg/m^3 などの高密度グラスウールよりも密度を落とし 48kg/m^3 と 64kg/m^3 の2種類としました。厚さは $25\text{mm} \times 2$ と $25\text{mm} \times 3$ の2種類を選択しました。浮き床層のCLTパネルは、カラマツおよびトドマツで、厚さは90mm（3層3プライ）と150mm（5層5プライ）としました（図6及び7に試験体の一部を示す）。なお、浮き床層とベース床の樹種は同一の組み合わせとしました。

浮き床のCLTと壁のCLTの間は10mm程度の隙間を設けます。隙間を設けないと、床の振動が下室に伝搬することとグラスウール緩衝層の空気バネの性能が変化することによって性能が低下します。

2.2 床衝撃音レベル改善量

2.2.1 軽量床衝撃音レベル

軽量床衝撃音レベルの改善量の結果を表1に示します。浮き床層のCLTパネルの厚さが150mmの場合はA特性床衝撃音レベル改善量が30dB、90mmの場合は27dBでした。また、L数の改善量はいずれも30dBでした。緩衝材のグラスウール密度や厚さによる差はほとんどみられません。また、樹種による違いもほとんど見られませんでした。

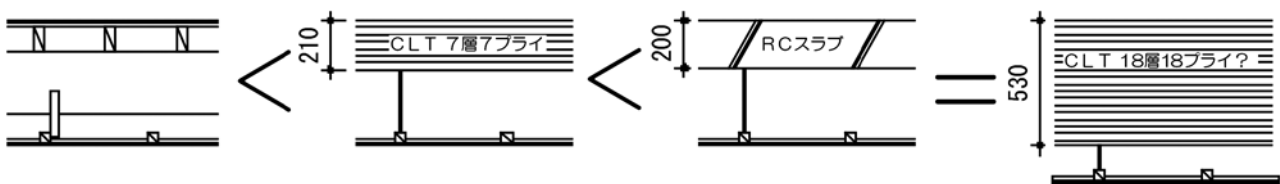


図1 床衝撃音遮断性能の性能比較

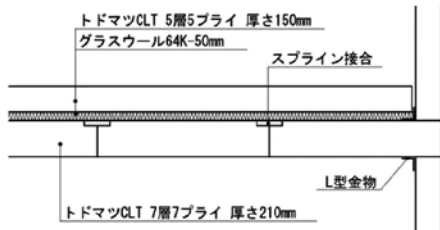


図2 浮き床CLTパネル150mm, GW64K-50mm

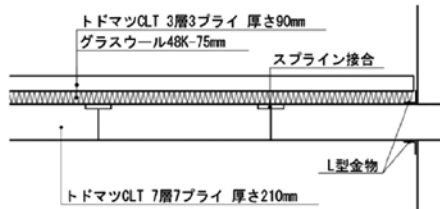


図3 浮き床CLTパネル90mm, GW48K-75mm



写真2 CLT浮き床工法の施工状況

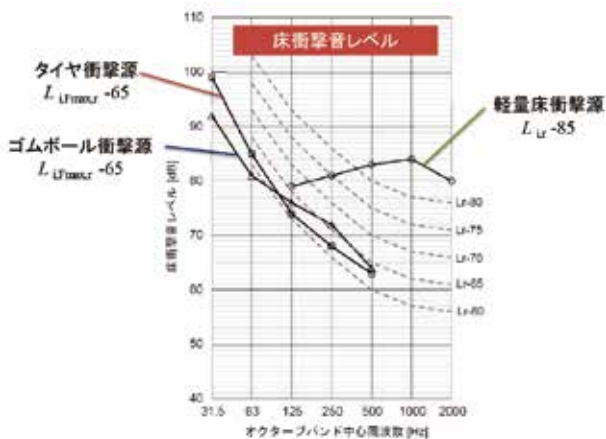


図4 A建築物の床衝撃音レベル測定結果

2.2.2 重量床衝撃音遮断性能

重量床衝撃音レベルの改善量の結果を表2に示します。浮き床層のCLTパネルの厚さが150mmの場合は最大A特性床衝撃音レベル改善量がカラマツで17dB、トドマツで11dB、90mmの場合はカラマツで10dB、トドマツで6dBでした。また、L数の改善量は150mmで10dB、90mmは10~5dBでした。

2.3 性能の推定

道内で建設されたCLT建築物の床衝撃音遮断性能の測定結果を図4に示します。タイヤ衝撃源の場合に $L_{i,Fmax,r,H(1)} -65$ が得られました。

表1 軽量床衝撃音レベル改善量 (GW: グラスウール)

	浮き床層仕様	オクターブバンド中心周波数 [Hz]						ΔL_A	ΔL 数
		125	250	500	1k	2k	4k		
カラマツ 150 mm	GW64K50	16	21	30	28	31	35	28	30
	GW48K50	15	20	30	29	32	38	29	30
	GW48K75	18	26	30	32	33	40	31	35
トドマツ 150 mm	GW64K50	16	20	28	27	31	31	27	30
	GW48K50	17	21	28	28	32	38	28	30
	GW48K75	19	26	29	30	32	38	30	30

カラマツ 90 mm	GW48K50	17	21	26	27	31	39	27	30
	GW48K75	19	25	26	28	31	40	28	30
トドマツ 90 mm	GW64K50	17	20	26	27	31	39	26	30
	GW48K50	18	20	25	26	30	38	26	30
	GW48K75	21	24	26	27	30	38	27	30

ΔL 数: 浮き床の床衝撃音レベルの等級の1dB単位の数元の床の床衝撃音レベル測定値の等級の1dB単位の数(この数字を5で割ると ΔL_r : 等級の改善量となる)

ΔL_A : A特性床衝撃音レベルの浮き床層の有無による差

表2 重量床衝撃音レベル改善量 (GW: グラスウール)

	浮き床層仕様	オクターブバンド中心周波数 [Hz]						ΔL_{Amax}	ΔL 数
		63	125	250	500	1k	2k		
カラマツ 150 mm	GW64K50	7	14	19	23	23	24	16	10
	GW48K50	8	12	17	25	24	26	17	10
	GW48K75	9	16	24	28	26	27	18	10
トドマツ 150 mm	GW64K50	8	10	16	27	26	28	10	10
	GW48K50	9	12	17	26	24	25	11	10
	GW48K75	10	15	21	29	25	26	13	10

カラマツ 90 mm	GW48K50	1	8	14	19	23	26	10	5
	GW48K75	1	8	15	20	24	26	10	5
トドマツ 90 mm	GW64K50	3	7	9	18	24	26	6	10
	GW48K50	4	8	10	19	22	24	6	5
	GW48K75	3	11	15	23	24	25	6	5

ΔL_{Amax} : 最大A特性床衝撃音レベルの浮き床層の有無による差

床衝撃音レベルの推定は、CLT床素面の性能+浮き床工法の性能+天井の遮音性能で行うことができます。つまり、図4に示した床衝撃音レベルの測定結果から、表1及び2に示した改善量を差し引くことで推定が可能です。

また、近年、RC造マンションやCLT向けに遮音天井の工法が開発されています²⁾。これらを用いることで更なる性能向上が見込めます。

3. おわりに

本稿では、CLT建築物の床衝撃音遮断性能を向上する工法として、CLT浮き床工法を紹介しました。この工法はCLTをあらわしで使用することと性能を両立する工法です。今後の木質建築物の推進の一助となれば幸いです。

【参考文献】

- 1) CLTを活用した建築物の竣工件数の推移、内閣官房ホームページ CLT活用促進のための政府一元窓口
- 2) 富高隆, 増田潔: ゼオライトを用いた粒状体制振天井による床衝撃音低減に関する実験的検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集D-1, pp.271-272, 2016.8

自習型認定研修の設定は、P8に記載しています

道央ブロック協議会

道央ブロック長
吉田 徹 (札幌支部)



本年度より道央ブロック長に就任いたしました札幌支部所属の吉田 徹と申します。今年、初頭より世界的に流行した新型コロナウイルスの影響により道央ブロック長就任直後から建築士会の活動が全く行えないまま現在に至っております。就任直後は、道央ブロックの運営において色々、思案しておりましたが、新型コロナウイルスにより現在の状況になってから大きく考えが変わりました。

例年、道央ブロックの運営は協議会に合わせて現場見学会や様々なセミナーを行いスキルアップや仲間との交流を主として活動をしています。

新型コロナウイルスの流行による自粛でテレワーク・Web会議など様々な業務手法が身近になりました。このような手法も道央ブロックの運営に取り入れることで道央ブロック協議会への参加が容易になると考えております。例えば協議会やセミナーにおいてライブ配信やWeb会議を行うことで当日参加できない方も、情報共有を行う事ができるようになり多くの方に他支部の活動や北海道建築士会の動きが見聞きできるようになり道央ブロック全体の更なる活動の幅が広がることを期待しております。

今後、新型コロナウイルスの影響が少なくなり、それぞれの日常に戻ることを祈っております。

道北ブロック協議会

道北ブロック長
菅原 雅章 (旭川支部)



本年度より道北ブロック長を務めさせていただいている旭川支部の菅原雅章と申します。道北ブロック長に就任し、建築士会の活動を通じてたくさんの方々との出会いや、様々な経験を出来ること期待をしておりましたが、現在、世界的に流行している新型コロナウイルスの影響により、道北ブロック長に就任以降は、建築士会としての活動が出来ていない状態が続いております。

今回の新型コロナウイルスにより、私自身たくさんの方の事を考えさせられました。中でも大人数での集まりの規制、イベントの中止、外出の自粛が続く中で、テレワークやインターネットでの会議、打合せが行われることが増え、最初は抵抗がありましたが少しずつ慣れていき、世の中にも浸透してきたと思います。建築士会としても、今後の活動の中でこれらを取り入れることにより、多くの方の参加や各支部やブロックごとの会議に活用できるのではないかと感じています。

一日でも早く新型コロナウイルスが終息する事を願っておりますが、このような状況の中でも、今自分出来ること、建築士会として出来ることを模索しながら活動し、終息後は皆様にお会いできること楽しみにしております。

道南ブロック協議会

道南ブロック長
岡嶋 昭宏 (苫小牧支部)



今年はコロナウイルスの影響により毎年恒例の連絡会議等が中止となり、青年会員の皆様に挨拶ができない状態で今日に至りますが、改めまして、今期より道南ブロック長を務めます苫小牧支部所属の岡嶋昭宏と申します。何も活動の出来ない中、残り任期も1年と2カ月となり、少ない期間ですが今後とも皆様よろしくお願い致します。

道南ブロックも他ブロック同様、活動出来ないまま現在に至りますが、未だにコロナウイルスの終息も見えず、

【with コロナと道南ブロック】

として何が出来るか？

まずはweb会議による協議会を行い、今の時勢に合わせた活動に移行し、現状の目標として、ライブ配信を活用し施設見学会が出来れば場所、時間、人数制限等に規制されないオンラインスキルアップが図れるのではと思っております。

今後、感染予防は元より、コンプライアンスを遵守しながら積極的にオンライン活動を行いたいと思っております。

道東ブロック協議会

道東ブロック長
石川 俊樹 (網走支部)



本年度より道東ブロック長を務めさせていただいている網走支部の石川俊樹と申します。

例年道東ブロックは、協議会、施設見学会や会員交流など多岐にわたり活動を続けてきました。

しかしながら新型コロナウイルス感染拡大における行動自粛によって、現在さまざまな価値の変容が進み、行動の自粛が押し進められています。テレワークが想定以上に機能している現状を反映し、メンバーシップの変容がコミュニティの距離感にも多様性が求められることとなります。これを一時的な現象ではなく、一種の在り方として受け入れ、その方向性を引き延ばしていくことで、多様なトライアルが実践されていく、そういう時代に移行していくかもしれません。

網走支部では全道大会の延期を余儀なくされ、来年度にも実施されるか否か、不安と交錯しながら進めなくてはなりません、これまでとは異なる可能性を新しいまなざしで捉えて押し進めていくことで将来像を描いていくことが大事だと考えています。

この状況下の中、終息したその先には、有意義で実りあるさまざまな実践活動や交流が増えていくことを願い、建築士会さらには社会全体で始まることを心より期待しています。

網走支部

来年こそは

青年部長

遠藤 崇哲



網走支部青年部では、新型コロナウイルスの影響により、今年度予定していた事業の中止を決断しました。そのため、昨年度実施した事業について報告します。

1月、流水が海を覆いつくす真冬の港で開催される冬のお祭り「あばしり流水まつり」で、雪像作りに参加しました。流水の上を走る凍つく風が顔を叩きつける寒さの中、多くの青年部員と共にピサの斜塔を制作しました。なんと！完成間際に私はインフルエン

ザに罹り、完成の喜びを仲間と分かち合うことができなかったことが、今でも心の傷として癒えないままです。

11月には、小学生を対象とした「建築模型作り」を実施しました。10分程度の私の長い挨拶の後、いざ作業開始です。

あらかじめ住宅の図面を貼り付けた厚さ1ミリのスチレンボードをカッターで切り取り、ボンドで組み上げるといった簡単な作業ですが、慣れない手つきでカッターを使いながらも、楽しく取り組んでいました。将来、建築の道を選んでくれたら嬉しいですが、簡単に

手に入る材料でも工夫次第で形になる楽しさを知ってもらえたら、と思っています。

来年は延期となった全道大会が網走で開催されます。コロナに負けずに笑顔でお会いできることを楽しみに、お待ちしております！



雪像作りー「ピサの斜塔」



建築模型作り

農水省会議報告

農水省による畜舎建築基の簡素化の会議について

支部長 高橋 利己 (遠軽支部)

この度、上記の会議に北海道建築士会の代表として出席させていただきました。

本会議の目的は、TPPによる諸外国からの輸入に対して日本の畜産業の強化を目的として設立され、会議参加者は、全国から15名の建築・畜産・学者等の人達により構成されております。

会議は、農水省が主体として進められオブザーバーとして国交省が参加しておりました。

私個人としては、日頃より畜舎、特に牛舎の設計で確認申請において審査時間が長く建物の規模等において、現行の建築基準法に基づいているので、いくら緩和規定があるにしても厳密に対応のされるために、大変不満に思っておりました。

農水省もそれらのことをかながみて、畜舎を建築するにあたり国交省から分離して、独自の認定を行い、迅速な対応と規模の拡大を目指しているようです。現行の基準法では木造500㎡以内、鉄骨200㎡以内なら構造計算不要を撤廃してゆこうとしているものです。

会議は、年3回、3年間の予定です。1回目は、2月4日で2回目は3月3日で会議場所は九段下駅（靖国神社・武道

館）そばです。千鳥ヶ淵の直ぐそばで桜が咲いており、大変暖かったのですが、帰りは北海道は吹雪で欠航となり、2日目も紋別空港は欠航、仕方なく女満別空港に条件付きで何とか到着。さて紋別空港に車を置いていたため、どうしたものか思案にくれました。JR・バスもストップなので、突然に思いついたのがレンタカーでした。

それから吹雪の中を4時間かけて紋別空港・遠軽町に無事帰ってきました。

3回目は、新型コロナによりメールのやり取りにて終了。

今回の検討結果は下記の通りです。

対象地域：「市街化区域外」、「用途地域外」

階数：「平屋建」

規模：「面積規定は現行より大幅に引き上げる」

手続：「簡素化」

設計：「建築士による」

基準：農林水産大臣が後日提示

その内容については、下記の農水省のホームページに掲載しております。https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/index.html



保護・露出・屋内と各シーンに合わせた防水工法

「万能型」改質アスファルト常温複合法：レイヤオール工法

改質アスファルト塗膜防水材による、マルチに活躍できる万能型の常温複合法

「F☆☆☆☆」および「VOC(揮発性有機化合物)自主規制表示登録」を取得



- 公共建築工事標準仕様書 A・B・D・E 各グレードと同等以上の性能を確保
- 塗る+貼るを組み合わせた複合法ならではの高い信頼性
- 臭い・煙の排出、火器を使用しない工法のため、施工環境に優しい
- 保護・露出・屋内の各シーンに対応したバリエーション豊富な工法設計
- 5℃以下でも施工が可能のため、通年使える常温複合法
- 熱工法やBANKS工法との組み合わせが自由

東西アスファルト事業協同組合

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6 大樹生命札幌大通ビル3階 田島ルーフィング(株)内

Tel 011-221-4014 Fax 011-222-3627

技術協力メーカー： TAJIMA 田島ルーフィング株式会社

道士会の動き

道本部の主な会議報告 (10月)

- ◆第7回BIM推進特別委員会
(開催日) 10月2日(金)
(議題) 1) オンラインセミナーに向けて
2) 令和3年活動及び予算
- ◆第2回まちづくり委員会
(開催日) 10月24日(土)
(議題) 1) まちづくり事例集・ゲーム作成事業の検討
2) 令和3年事業計画・予算案の検討
- ◆第5回Webworking
(開催日) 10月26日(月)
(議題) 1) ホームページトップページデザイン等
2) (一社)北海道建築士会Web会議システム利用規則
3) 令和3年ホームページ運用及びWeb会議システム運用計画・収支予算
- ◆第2回事業委員会
(開催日) 10月31日(土)
(議題) 1) 令和2年事業報告及び決算見込
2) 令和3年事業計画及び収支予算
3) 北海道建築士会特別活動費の活用及び助成額、助成申請の手続き並びに助成の決定に関する要項(案)

本部の主な行事予定 (11月)

- 7日(土) 北海道建築士会机上訓練(函館)
- 14日(土) 第3回女性委員会
- 17日(火) do BIM season1 2nd
- 21日(土) 第3回総務委員会
- 21日(土) 北海道建築士会机上訓練(帯広)
- 28日(土) 第3回青年委員会

関係機関等会議参加予定 (11月)

- 16日(月) 建築CPD運営会議(東京) 高野会長出席

講習会のご案内

監理技術者講習

- 18日(水) 苫小牧市
- 19日(木) 函館市
- 24日(火) 札幌市

建築士定期講習

- 5日(木) 旭川市
- 10日(火) 帯広市
- 11日(水) 札幌市
- 18日(水) 室蘭市

編集後記

すっかり紅葉も始まり、食欲の秋！芸術の秋！読書の秋！
〇〇の秋ですね♪私は、食欲が一番進みます♪紅葉見ながらおいしい食べ物を食べにドライブに出かけたいですね。近年は、会議や講習会のオンライン化が日常になり、飲み会もオンライン飲み会。なんだか、秋の風が冷たく感じる時もあり、人肌が恋しく感じる今日この頃。オンライン飲み会ではなく、大人数でオフライン飲み会ができるように早くなるといいですね♪

情報委員会 境谷 香奈(恵庭支部)

CPD認定プログラム(11月認定)

- ◆北海道建築士会震災建築物応急危険度判定士認定講習会・机上訓練
(開催日) 函館 11月7日(土) 帯広 21日(土)
(単位数) 3単位
(上記講習等問合せ先)
(一社)北海道建築士 TEL 011-251-6076

CPD 自習型認定研修の設問

P4-5 CLT建築物の床衝撃音遮断性能を向上する浮き床工法の開発

北海道建築士 No.279
2020/11/1 単位：1

- 設問** 床衝撃音遮断性能を向上させるための記述で、最も不適切なものはどれか。
- a. 床構造の上に遮音シート(厚さ1.2mm程度)を施工した。
 - b. 床構造の曲げ剛性を高めるために根太せいを大きくした上で、面密度を高めるために強化せっこうボード21mmなどの重量物を敷設した。
 - c. 天井の吊り方を振動が伝達しない方法とし、天井懐内に吸音材を挿入した。
- ※不正解の場合は、単位に登録できない場合があります。

速報

Web WGから

最新情報! *なう!ご期待を..

*** 11月から“会員専用ページ”で
オンデマンド配信を開始します!



- 第一弾：9月開催「BIMセミナー(録画)」
- 視聴方法：北海道建築士会HP(<https://www.h-ab.com/>)の上記「会員専用ページ」をクリックし下記パスワードを入力
- 11月パスワード：Hab034

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/柏倉 晶憲・村山 賢司
片岡 哲二・境谷 香奈

北海道建築士 No.279号

印刷 令和2年10月/発行 令和2年11月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番